

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	シナリオ II	
科目基礎情報							
開設学科	声優・演劇科		コース名	声優コース		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	40時間
単位数	1単位					授業形態	実習
教科書/教材	適宜、原稿・台本等を配布する。						
担当教員情報							
担当教員	渡会一仁・安倍康幸			実務経験の有無・職種	有・ディレクター、音響技術者		
学習目的							
フリートーク、原稿読み、音声ドラマ等の台本などを通して、作品内容の適切な理解と、それに基づく魅力ある表現の習得。台本の精密・的確な読解。 録音・放送スタジオにおける作業、音声業界の仕事の仕方と必須のマナーなどを習得する。							
到達目標							
演者・表現者としてふさわしい、作品の内容を深く理解する力と、協働していく上で適切な表現力の獲得。プロフェッショナルとして俳優・声優活動するために必要な、取り組み姿勢やマナーなどを身につける。持続的にパフォーマーとして生きていく基礎力を獲得する。							
教育方法等							
授業概要	自由なテーマ、あるいは設定されたテーマに沿って、与えられた設定時間を意識しながら、フリートークを行う。ナレーション原稿を様々な状況設定で読み、その技術を理解する。オーディオドラマを演じる稽古を通じて、脚本からストーリーやテーマを読み取り深く理解する力をつける。演技プランを考えキャラクターを設定し、共演者と相互作用しながら演技をする。						
注意点	実習講座のため、何より出席し演習に参加することが重要。適宜に録音制作を盛り込むので、配役などクラスに対する責任感を大切に。ペーパーテストなどは行わない方針だが、講師の目から見た個々人の能力、向上心や取り組み方を評価していく。演習を通じて内容については柔軟に見直していくため必ずしもシラバス通りに進行しないが、より良い実習になるようお互いに努力していく。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	平常点	50%	演習に取り組む態度、積極性、チームワークなど、参加意識を見る。				
	技術点	50%	それぞれの課題・制作を通して、理解力、表現力を評価する。				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	オーディオドラマ（少人数）1		登場人物が少ないオーディオドラマの演技実習。配役を組み替えながらシナリオ理解を深める				
2回	オーディオドラマ（少人数）2		登場人物が少ないオーディオドラマの演技実習。配役を組み替えながらシナリオ理解を深める				
3回	オーディオドラマ（少人数）3		登場人物が少ないオーディオドラマの演技実習。配役を組み替えながらシナリオ理解を深める				
4回	オーディオドラマ（少人数）4		登場人物が少ないオーディオドラマの演技実習。配役を組み替えながらシナリオ理解を深める				
5回	オーディオドラマ（少人数）5		登場人物が少ないオーディオドラマの演技実習。録音とプレイバックで確認				
6回	オーディオドラマ（中編）1		やや長いオーディオドラマの演技実習。配役を組み替えながらシナリオ理解を深める				
7回	オーディオドラマ（中編）2		やや長いオーディオドラマの演技実習。配役を組み替えながらシナリオ理解を深める				
8回	オーディオドラマ（中編）3		やや長いオーディオドラマの演技実習。配役を組み替えながらシナリオ理解を深める				
9回	オーディオドラマ（中編）4		やや長いオーディオドラマの演技実習。配役を組み替えながらシナリオ理解を深める				
10回	オーディオドラマ（中編）5		やや長いオーディオドラマの録音による実習。シナリオ理解が表現につながっているか確認				
11回	オーディオドラマ（中編）6		やや長いオーディオドラマの録音による実習。シナリオ理解が表現につながっているか確認				
12回	シナリオ まとめ演習		オーディオドラマのまとめ演習。シナリオ理解が表現につながっているか確認				
13回	シナリオ まとめ演習		オーディオドラマのまとめ演習。シナリオ理解が表現につながっているか確認				
14回	シナリオ まとめ演習		オーディオドラマのまとめ演習。シナリオ理解が表現につながっているか確認				
15回	シナリオ まとめ演習		オーディオドラマのまとめ演習。シナリオ理解が表現につながっているか確認				